

えいぎょうじほう

# 永敬寺報

二〇一五年八月一日

第 八十九 号

みやこ町勝山黒田

電話(0930)32-2141

## 御案内

秋季彼岸会法要厳修

日時九月一日(金)

おとき正午〜

昼席一時 夜席七時半

九月一日(土)

昼席一時

講師 豊津・浄邦寺住職 加来知之様

◎ 七月後半は台風接近や不順な天候が続きましたが、お変わりなかったでしょうか。お盆も近づきました。

◎ 宇佐市の四日市別院の屋根瓦や内陣の大修復工事は順調に進み、来年四月十九日から二十三日までの五日間、宗祖親鸞聖人七百五十回忌御遠忌が厳修されます。五十年に一度の御遠忌ですので、京都組(行橋市・京都等の東本願寺に属する寺院の単位)では、430名でお参りする計画です。何日になるか決まり次第、ご案内致します。

◎ お彼岸のご講師は、京都で深く親鸞聖人の教えを学ばれた御住職ですが、「今日の課題を教えにどう聞いていくか」を強く意識されながら話をされる方です。「真実に生きる道」について、一緒にお聞きしましょう。

◎ お誘いあわせてお参り下さいますようお願い申し上げます。

「教えにあわなれないと、いのちの尊さや生きる意味、  
大事なものがハッキリしない」(作家・高史明)

お彼岸は先祖を供養する年中行事の一つとして定着している感じがしますが、**そもそも「彼岸」とは何なのでしょっ?**

私たちは**幸せ**になりたいと思いつながら、毎日暮らしています。幸せになるためには**たくさん**の条件が必要です。でも、「**幸せ**になれないのは、先祖をおろそかにして、この条件が満たさないからだ」と言われれば、いともたってもいられないくなります。

また、健康になることや金持ちになるといったことが救いであるかのごとく思いがちです。しかし、それは**一時的な状態**の変化で、**根本的な苦悩**が解決されない限り、人間は**本当に救われる**ことができません。

「彼岸」にお墓に参って手を合わせるといっなのは、いま「此の岸(現実世界)」にいる私たちの生活が、これでいいのかわからぬため、問う事なのです。

**先祖と同じように命が終わっていく私たち自身が、物質的な豊かさにふりまわされて、本当に豊かな生活を見失っていることに気づくことが大事だと教えてくださっています。**

釈尊は「人間は迷ったり悩んだりするとともに、また、その悩みから目覚め、悩みを超えることができる存在である」という**自覚の道**を明らかにされました。

**いかなる境遇にあっても、その境遇を担って歩める者になることが、本当の救いなのです。**

## 人間であり続けるために

真城義磨先生の講演、聞き書き

- ◎ 今は近代科学の恩恵を受け、その恩恵ばかりに目を向けすぎています。人間として生まれたことに価値がある。しかし、そのことに目がいかなくなりました。
- ◎ 猫は人間に育てられても猫。しかし、人間はほっていたら人間にならない。インドで狼の集団で育った姉妹は狼に近く、人間社会に戻されても馴染まないままであった。
- ◎ 人間の子どもが今、テレビに育てられてないだろうか。外国には優先席がない。韓国は譲るのは当たり前。英国では小学生は立たせる。「人を殺したらいけない」と言う事は地域社会の空気を吸ってしみこみ、身に付いてきた。言葉だけで教えたのではない。ばあちゃん駄目なあなたがかわいい。転んでこぶを作った時、机をしかって守ってくれた。家庭がほっとできる場所にならなければ。
- ◎ 平成五年、瀬戸内にある小さな島に帰った。ビックリするくらい変わっていた。少子化でなく無子化。昔四千人、今六百五十人に減少。高齢者の割合が全国で二番目に高い。その高齢者の誰もが、「年をいったらうまいやうになった」と言う。
- ◎ 年を取れば機能は低下、目や耳は遠くなったのに、おしっこは近くなる。金や地位も役に立たなくなる。会社では抜群であっても、家では役に立たない。
- ◎ 妻から見ると粗大ゴミ。川柳に、「粗大ゴミ、朝出して夕方帰る」。「期限切れ、まずは夫に出してみる」。「ランキング。母と犬・猫、父と金魚」。「風食は妻セシフ、夫はセルフ」。「娘ブランド、父バーゲン」。「携帯を使う娘と払つ父」。
- ◎ しかし、「老」は最高の尊敬の言葉のはず、家老・老中・大老・老師など。老化でなく加齢のほうがいい。老が喜びとなる仕組みをほじめた。「世話になる練習の会」を作った。世話をしっぱなしで平気。世話を受けっぱなしで平気。話しかけることの無かった人たちが道で挨拶をするやうになった。
- ◎ ものさしで図らないのが仏の世界。仏法では人間としての尊厳が損なわれることがない。年と共に衰える知恵記憶力。年とともに深まる智慧。思いとおりにならないことを経験した人の眼が開かれる。思い通りにならない人生を生かすのです。
- ◎ 法句経に、「我は死すものと悟らぬものがある。悟わば争わぬ」と説かれている。仏教の根本の考え方は縁起。関係しあっているものがこの存在。吐いた息をペーパーが吸う。支えあい、支えられている。命は預かりもの、返さなくてはならない。心臓は血をめぐらせ、一日に脈十萬回、六十五歳で二十億回。腸は働き続けている。内からも外からも支えてくれている。太陽も光を与えてくれている。釈尊の言葉は「天上天下唯我独尊」は「自分ただだ独りにして尊いという意味です。すべての人、ひとりひとりが尊いのです」。
- ◎ 敬者の日は私が老っていくのを私が敬い、老者を引き受けつづけるべきである。老は必要だから与えられる。年をとって分かるじやがある。そのため命が与えられた。
- ◎ 人間は思いつくおりに生きらわれない。今をこなしつつこれからもなぬこ。支えてくねる世界がある。仏から捨てられる人はいないのです。

(本号協賛)

### **山口石材工業**

墓石建立・クリーニング・修理、記念碑、石材彫刻品、石材加工、貼石工事、他

**京都郡みやこ町豊津**

**2022-2**

電話 **0930-33-5121**

FAX 0930-33-3932

### **ガラム★ガラム**

インド料理

**行橋市中央 1-11-11**

電話 **0930-25-4647**

※支店

タンドーリアン大分店

## **永敬寺ホームページの紹介**

- ◎ **eikyouji.jimdo.com** で「検索」  
又は、**http://eikyouji.jimdo.com/** で「検索」  
又は、**永敬寺** で「検索」した後、  
『**永敬寺ホームページ福岡県京都郡みやこ町 | 寺院・納骨堂・家族葬**』  
の公式ホームページをご覧ください。
- ◎ 「真宗の教え」、「永敬寺の沿革」、「行事のご案内」、「納骨堂のご案内」、「お寺でのコンサート」、「永敬寺報」、「交通アクセス」などをご覧ください。

## **朝のお勤(つと)め・五分法話**

- ◎ 毎朝七時から七時二十分まで。
- ◎ 親鸞聖人(しんらんしょうにん)のご命日の二十八日は毎月、お勤め・法話の後、**朝がゆ会**を行なっています。無料です。気軽にお出で下さい。